

# 役に立つ葬儀の話 Vol.39



## ご葬儀の打合せまでに⑤

最近では前もって葬儀費用をお見積りする「事前相談」のご依頼を受けることが多くなりました。以前は葬儀の話をするに自体忌み嫌う風潮でしたが、今では進んでご自身の葬儀の見積りもされる方もおり、おおよその費用やそれまでに準備することがわかることで葬儀に対する心の負担が軽くなるようです。

この見積りをする上で重要なのは「親族の人数」と「会葬者の人数」がどれくらいになるか、ということです。これによって、ほとんどの葬儀社では「式場の大きさ」「返礼品の数」「料理の数」など葬儀費用の中でも大きな割合を占める項目の検討が付き、より現実に近い見積りができます。

さて今回は「会葬者の人数の予想」についてです。予想の仕方として、それぞれ…

①故人の近所の方、友人知人、勤務先（現役の場合）の大体の人数

②喪主家族の近所の方、友人知人、勤務先（現役の場合）の大体の人数

…が一般的ですが、最近では「故人の親族のみ、あるいは故人と特に親しかった友人まで」と制限をかけ、いわゆる会社関係など義理で参列するような人を断ることも多くなりました。静かに身内だけで送るというのもよいのですが、ある方は、葬儀後に知った人が後を絶たず対応に困ったという事もあるので、風潮に流されることなく慎重に判断することが大切です。

次回は故人様の祭したくについてお話ししましょう。



白石弥生

## はなだより～ひまわり～

夏バテしがちな暑い日が続いています。ビタミンカラーの濃い黄色のお花から、元気をもらいましょう。そんなお花といえば、エネルギーに咲く「ひまわり」を思い出します！とても知名度が高く、夏のイメージのあるお花です。でも詳しくは知らない…という方が多いように思います。

今回ご紹介するお花は「ひまわり」です！



### 何の仲間？

キク科、一年草です。花びらの形状や芯の部分をよく見ると、キク科なのも納得ですね。種は食用としても流通していて、主に油の材料になります。

※一年草…種を収穫し、種をまき育てる植物  
開花時期は7月半ば～9月初旬にかけてが見頃です。

### 名前の由来は??

和名「向日葵」、別名「日輪草(にちりんそう)」と書きます。太陽に向かって花を咲かせて、追いかけて回ることから「日廻り」が名前の由来になっています。花言葉は「まっすぐあなたを見ています」太陽を見つめるように、大輪の花を真っ直ぐ向ける姿にぴったりです！

### 太陽を追いかけるのは若いうちだけ！

でも実際には、「成長して大きくなったひまわりは太陽を追いかけて、向きをあまり変えないんですよ！

ひまわりがまだ花を咲かせる前や、満開になっていない間は日光をたくさん浴びるために太陽を追いかけて、向きを変えていきます。しかし、大きく咲いてからは頭が重くなって動けなくなり、太陽を追わなくなります。大きく成長したひまわりは東を向いて咲くことが多いそうです。それは朝日の方が夕日よりも、植物が感じる青色光が強く、より多くの日を受けようとしている植物の知恵のようです！

しっかり日の光を浴びて、力強いエネルギーを蓄えているからこそ、暑い夏でも元気に凛とした姿で花を咲かせているんですね。ひまわりから元気をもらって、暑い夏を乗り切りましょう！ フラワースペースデザイン部



## 四国へんろ道

第25番札所【宝珠山 真言院 津照寺】(ほうしゅざん しんごんいん しんしょうじ)  
【～ご詠歌～ 法の舟 入るか出づるかこの津寺 迷ひ我身をのせてたまへや】

室津港を眼下に望む小高い山の上にたたずむ津照寺は、弘法大師がこの地を訪れた際、山の形が地藏菩薩のもつ宝珠に似ているこの地が霊地であると確信して、地藏菩薩を自ら彫造し開創したと言われております。

通称「津寺」(つでら)と呼ばれており「今昔物語」に「津寺」として次のように記されています。

今昔、土佐ノ国二室戸津ト云フ所ナリ、其ノ所ニ一ノ草堂ナリ、津寺ト云フ、…という文から始まるこの物語は、野火が出てこの辺り一帯が火事で焼けた際、本尊の地藏菩薩が自ら小僧に姿を変え、村人に「津寺が焼けて失せようとしている、里の人皆で出て火を消すべし」と知らせた難を逃れたという本尊地藏菩薩の霊験が語られています。また旧記南路談には、土佐藩主山内一豊が室戸の沖で嵐に遭った際、どこからともなく一人の僧が現れて船の帆をとり、無事室津の港へ送り届け立ち去りました。礼を言おうと去った僧の姿を探していると、僧が津照寺に向かっていったと聞きつけ本堂に立ち入ると、本尊の地藏菩薩がびしょりと水に濡れており、本尊が僧に姿を変えて船を救ったのだと大変驚いたそうです。このことから本尊を採取地藏(かじとりじぞう)と呼ぶようになったそうです。霊験あらたかであると藩主や地元の人からの信仰があつく隆盛を極めていたことが、明治初期、神仏分離令や大教宣布などの明治の改革により寺は廃寺とされました。

明治16年になり、寺名復興を許されましたが、寺域は狭められ隆盛を極めていたころの面影はなくなってしまいました。現在の大師堂は昭和38年に、本堂は昭和50年に新築されたものです。朱門をくぐると125段のかなり急こう配な石段が本堂へと続き、海が近く海上安全のご利益があるからでしょうか、石段の途中には、まるで竜宮城のような鮮やかな鐘楼門が見えてきます。左右の階段は上ることができずので展望を楽しみつつここで一息休憩するのもよいかもしれません。ここからさらに上に石段を登り切ったその先に本堂があります。鐘楼門もですが本堂も近代的な作りで他の霊場とは雰囲気が違うのです。

本堂を背にする室津港の港町と太平洋を望むことができます。生い茂る緑と青い空とそれよりもなお深い青い海に心が癒される気がします。右の方からは26番札所の金剛頂寺が見えるらしいのですが…、緑が生い茂り先見するには難易度が高いです。この後お参りする大師堂ですが、大師堂と納経所は石段を上る手前の右手にはいったところですので、当然来た石段を下るのですが、登りよりも下りの方が急こう配に見えて怖いです。慎重に気を付けて下りましょう。

次回は第26番札所 龍頭山 光明院 金剛頂寺(りゅうずざん こうみょういん こんごうちょうじ)をご案内いたします。



吉田圭佑

## ドリーマー社員大募集!! まずはお電話を!!

ドリーマーではお客様にご満足いただけるサービスを提供するためスタッフを募集しております。

【正社員】 基本給 187,000円～293,000円

(休日/月6日、有給あり、賞与年2回、社保完備)

【献茶スタッフ】 時給 800円～1,100円  
(出勤可能な希望日 要相談)

セレモニーにおける会館でのお飲み物のお配りや、式場のご案内など接客が主な仕事です。

【営業パート】 時給 800円～1,500円  
(週4日)

冠婚葬祭においてドリーマー会員の必要性を伝えながら、会員募集営業をするお仕事です。

お仕事をお考えの方！  
私たちと一緒に働きましょう！！  
未経験からはじめたスタッフがほとんどです。知識経験がなくてもマンツーマン指導で、しっかりと仕事を覚えることが出来る環境です。ご連絡をお待ちしております。



募集に関するお問い合わせは  
0897-35-1110

担当 戸田 まもる みらい あい

まほろば

第56号



株式会社ドリーマー  
ご葬儀かわら版

0120  
44-5880

